



# No.30 学校図書館 司書だより

## 2018年3月



### 図書館クイズ:

世代を超えて愛され続けて50年。加古里子さんの「だるまちゃん」! だるまちゃんが遊んだことのないお友だちは?

- ①てんぐちゃん ②おぼけちゃん ③とらのこちゃん ④かみなりちゃん ⑤だいこくちゃん

## 本と読書

「なぜだろうなぜかしら」

美濃加茂市長

伊藤 誠一

私が、物心ついて初めて本を買ってもらったのは、「なぜだろうなぜかしら 小学校一年生版」という本でした。父親から、小学生になったお祝いとして買ってもらったものです。その本は、自然や科学に関する小学一年生レベルの疑問に対して、やさしく答えるといった内容でした。「雲は、なぜ空に浮かんでいるのですか?」その第一問でした。

その質問を見たとき、思わず「ええ、何?」と思いました。そもそも雲は空に浮かんでいることを意識したこともなかったし、当たり前のことだと思っていたので、その疑問がむちゃくちゃ新鮮に感じました。

その日のうちにすべての疑問を一気に読みました。

何かすごいことを成し遂げたような気がして、生意気にも、次の二年生版を買って欲しいとねだりました。

自分の本は自分で買えという伊藤家の家訓で、お年玉で二年生版、三年生版・と毎年一冊ずつ本を買って、夢中で読みました。

それから、私の「なぜ、なぜ」人生が始まったのかもしれない。

「なぜ、アリの足は六本なんだろう?」、「なぜ、遠くにもテレビが見られるんだろう?。」とにかく、何にでも疑問をぶつける子どもになっていきました。

そのうち、周りもめんどろくさくなって、「自分で調べなさい」ということになり、順番に夏休みの自由研究のテーマにしていきました。一冊の本のおかげで、わたしの夏休みはけっこう充実していました。

それから年月が経ち、六年生に。なんとGDSテレビの天才クイズに参加する機会を得ました。あと一問で天才賞は逃がすものの、賞品で広辞苑をゲット。

とても重いものでしたが、毎日、パッと開いたページを読む生活が始まりました。見開きのページにある言葉の意味や、世界の都市の名前など本当にいろいろな情報を知ることができました。そのほとんどは全く覚えていませんが、それが癖になって、とにかく物事の背景や理由、その由来を調べないと気が済まない性格になってしまいました。

未だに、テレビや新聞を見ると、これは「なんで・・・なのか?」とついみんなに聞きたくなります。最近では、家族の誰も相手にしてくれないようになりました。しかし、その理由や由来を発見した時の喜びは、小一の時の「なぜ雲は浮かんでいる」ことを知った時と全く変わっていません。

一冊の本が、私の生き方を大きく決めたような気がしています。

本を読むと様々な情報を得られます。さらに、そこから「なぜ」と思える探究心が芽生えたことが私の大きな財産になっています。

伊藤さんのその「広辞苑」は今もちゃんと本棚にあり、いつでも出番をまっているそうです。

4/23~5/12

こどもの読書週間

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)に誕生しました。本に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるときでもあるのです。

2001年には、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されました。そして、4月23日を「子ども読書の日」として、様々な行事が全国各地で行われています。

美濃加茂市でも各学校、図書館で様々な取り組みが計画されています。お楽しみに! 美濃加茂市でも各学校、図書館で様々な取り組みが計画されています。お楽しみに!

なぜ、4月23日なの?

作家シェイクスピアとセルバンテスの命日であるこの日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることなどにちなんでいます。また、スペイン・カタルーニャ地方では、「サン・ジョルディの日」として、本と花を贈り、愛する気持ちを伝え合うという風習があることにも由来しているのです。あなたも親しい人に本を贈ってみませんか?

美濃加茂市図書館では...

「空青図書館」が5/6(日)、中之島公園(愛称 RIVER PORT PARK MINOKAMO)にて行われます。読み聞かせや親子ヨガなど、ピクニック気分でぜひお出かけください!



